

北東白石地区

第3回 情報交換・交流会

令和7年1月29日(水)、東川下記念会館にて「北東白石地区 第3回 情報交換・交流会」が開催され、7団体、14名の方が参加されました。

○情報交換・交流会とは？

北東白石地区のサロンやボランティアクラブ等のグループで中心的な役割を担っている方に集まっていた、日頃の活動について、情報交換や交流を通して、よりよい活動が今後も継続していただけるように、2023年の第1回から介護予防センター川下が主催で開催されている会です。

参加団体のご紹介

- ①シニアサロン和み
- ②チアフル
- ③カリン花サークル
- ④モルック北東白石
- ⑤ハナの会
- ⑥川北スマイルサロン
- ⑦ボランティアクラブ
オレンジリング



第1回(2023年)、第2回(2024年)情報交換・交流会の振り返り

○第1回テーマ

身体・認知症状・気力・体力が弱ってきている参加者(メンバー)、または、これからそのような方が出てきた時、グループとして取り組んでいきたい事、もうすでに取り組んでいる事

参加者からのご意見

- 相手の身になって考える事。● 優しい声掛け、何気ないお手伝いをしている。
- 笑顔を忘れずに接する。● 行動が遅れた時も、皆がしっかり待つてあげている。
- 笑顔で来て、笑顔で帰れるように心配りをする。
- 認知症の進行がある参加者が民生委員とのつながりから、遠方の家族につながり、施設入所につながったケースがあった。● 会の開催当日に、電話掛けをする。



○第2回テーマ

参加者やスタッフになる方を増やすためにできることや工夫する事

参加者からのご意見

- 町内会の会報などで宣伝していただく。
- 町内会役員、近所の方に楽しいので、参加してほしいと伝える。
- 参加者の個人的な声掛け。スタッフの役割になった方へ、周りの人がフォローする体制をしっかりとつくる。
- 情報提供、声掛け、イベント参加。
- 参加者を増やすのに、苦心している。
- 「他のグループの活動を見学してみたい」との声があり、代表の方同士で連絡先を交換されるなど、積極的に交流されていました。

